



# 今井小だより

横浜市立今井小学校  
令和4年9月30日  
学校だより 10月号

学校教育目標 : かがやいている子 「自分大好き!今井大好き!」

## 子どもが輝くとき

学校長 松永 史郎

「晴れの舞台」または「晴れ舞台」という言葉をお聞きになったことがありますでしょうか。辞書で調べてみると、「人前で何かをする、重要で晴れがましい場所・場面」と載っていました。

考えてみると、もしかしたら学校は、子どもたちにそのような「晴れの舞台」をたくさん用意してあげる場所なのかもしれません。ふだんの学校生活や学習では、少しドキドキしながら、友達の前で話したり発表したりする場面がたくさんあります。教職員は、いつも、子どもたちがそういう小さな積み重ねを経ながら、少しずつ自分に自信をつけてより高いハードルを乗り越えられる力を身に付けていけるように願っています。時には失敗もあるでしょう。それもまた次につながるように励ましていくことで、さらなる飛躍の力を…と信じて声をかけています。

さて、10月29日(土)には本校の運動会「今リンピック」を開催する予定です。「今リンピック」でも、子どもたちにとっての「晴れの舞台」をたくさん計画しています。

その中でこれまでと大きく異なる点として、「徒競走」と「演技」に加えて、「選択種目」を実施します。1年生から6年生までの全員が、「リレー」・「とびつきつなひき」・「応援団」の中から、自分に合った種目を選んで取り組みます。一部の選手だけではなく、全員がどれかを選ぶのがポイントです。「自分が一番輝くことができるのはどの種目だろう?」と考えて選ぶことから始まり、真剣に練習に取り組む中で少しずつ自信をつけ、ドキドキの本番に臨む……そのような姿を期待しての種目です。

もちろん「今リンピック」本番での子どもたちの「輝き」も楽しみですが、実はそれだけではなく、本番までの練習でどんな力を身に付けられたかという過程が大切なのでしょう。運動会というと、どうしても勝敗や結果のみを意識してしまいがちですが、そのかげにある一人ひとりのがんばりや努力こそが「晴れの舞台」であり、「子どもの輝き」なのだということを教職員一同忘れないようにしたいと考えています。各ご家庭でも、当日までのお子さんががんばっている様子も見てください、励ましの声をかけていただくと幸いです。

感染もそろそろピークアウトではないかといううれしいニュースも聞かれ始めました。とはいえ、まだまだ全てコロナ禍以前と同じようにというわけには参りません。運動会「今リンピック」も「できることをできる形で」「アクセルとブレーキを併用しながら」という今年度の方針に則りながら実施したいと思っております。引き続き保護者の皆様のご理解、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。